

自分のよさ、友達のよさに目を向けて

副校長 武藤 晋

寒波の影響から、暖冬という予想に反して、厳しい寒さが続いています。その中で、学校の梅の花が咲き始めています。寒さの中にも、少しずつ春が近づいていることを感じさせてくれます。

早いもので、新年を迎え1ヶ月が過ぎ、平成27年度も残すところ2ヶ月となりました。一年間を振り返りながら、今の学年のまとめをしっかりと行い、次の学年へつないでいく大切な時期にさしかかってきました。

ちびっこ駅伝の練習に取り組む姿や本番での頑張り、ニュータウン音楽祭での素晴らしい歌声、先日の作品展や書初め展からも、子どもたちの頑張りや成長を感じることができました。

一年間を振り返るとき、自分のよさや長所、頑張りをいくつかあげることができるでしょうか。自分の成長や成果をしっかりと見つめ、それを自信にしてほしいと思います。

「自分のよいところは」と聞かれても、あまりたくさん挙げられないという人もいるかもしれません。もしかすると、日本人はそうしたことが苦手なのかもしれません。今まで経験してきたどの学校でも、子どもたちの自尊感情を高めたい、自己有用感が持てるようにしたいということがよく話題に出ました。本校の職員で話し合いをした時も、似たような話があったことがあります。子どもたちには、もっと自分に自信をもち、自尊感情や自己有用感を高めたいと願っています。

では、自尊感情や自己有用感といったものは、どのようにすれば高まるのでしょうか。一つは、目標を達成したり、困難を乗り越えたり、自分の行動や活動を通して、小さなことでも達成感や満足感を味わえるような経験をたくさんすることが大切だと思います。そして、もっと大切なのは、周りの人や友達から認められたり、褒められたりすることではないでしょうか。

何年前か前に、「いいとこメガネ」というコマーシャルがよく流れていました。他人の欠点や気になるところばかり見つけるのではなく、「いいとこメガネ」でよいところたくさん見つけていこうというコマーシャルです。気になるところも、視点を変えることでよさに見えることもあります。みんながそういう目で友達を見て、お互いに認め合ったり、褒め合ったりすることが、自尊感情や自己有用を高めるのにはとても大切だと思います。それは、同時に、相手を思いやる心を育てることにもつながると思うのです。

あと2か月、友達のよいところをたくさん見つけ、伝えてほしいと思います。また、自分の良さや頑張ったこと、成長したことをたくさん見つけてほしいと思います。そして、次のステップへとつながる課題や目標を見つけ、自信をもって次の学年へと進んでほしいと願っています。